

# お知らせ

食品衛生学雑誌の論文に「**妥当性評価**」の区分が新設されます。

食品衛生学雑誌では、4種類の論文（報文、ノート、調査・資料、総説）を掲載してきました。2011年から、食品衛生分野の分析法の妥当性評価研究を対象とする論文区分を新設します。詳細は、第52巻第1号に収載する投稿規定をご覧ください。

## ※ 新設論文区分の趣旨

試験法妥当性評価の研究成果に関する論文の区分です。  
食品衛生学分野における妥当性が確認された試験法の開発と普及を促進することをめざします。

## ※ 新設する論文区分

### 妥当性評価

国際的または食品衛生分野で受け入れられている試験法妥当性評価ガイドライン等に沿って実施された研究で、かつ未発表の研究を対象とします。  
対象には、理化学および微生物のいずれの分野にかかわる試験も含まれます。また、新規に開発した試験法のほか、既に報告されている試験法についての評価も対象となります。ただし、既報の妥当性評価研究成果を単に追試験したものは対象にはなりません。

本区分の新設により、食品衛生学雑誌に掲載される論文の区分は、報文、ノート、調査・資料、妥当性評価、総説の5種類になります。  
多くの方のご投稿を、お待ちしております。